

問1 世界の諸地域の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり400人を超え、国土面積に占める農地の割合が5割を上回るという特徴を持つ国と、人口密度が1平方キロメートルあたり30人未満と低く、アマゾン川流域を中心に国土の約6割弱が森林に覆われているという特徴を持つ国の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)

1. インドと南アフリカ共和国 2. インドとブラジル 3. 中国とロシア 4. 中国とブラジル

問2 1980年代から2010年代にかけて、ベトナムやインドネシア、マレーシアなどの東南アジア諸国で見られた輸出品目の構成変化に関する説明として、最も適切なものはどれですか。かつての主要な輸出品と、近年の動向を踏まえて答えなさい。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)

1. 伝統的なモノカルチャー経済を維持するため、農産物や鉱産資源の輸出割合を1980年当時よりもさらに高めた。
2. 工業化を断念し、観光業などのサービス業を経済の中心に据えたため、工業製品の輸出割合は1980年当時よりも低下した。
3. 自国内の消費が増えたため、農産物や鉱産資源の輸出を制限し、重化学工業製品の輸入を大幅に増やした。
4. 外国企業の誘致などによって、衣類や電気機器などの工業製品の輸出割合が増大し、工業国へと移行している。

問3 中国の統計において、1人当たり域内総生産が6万円を超える地域は沿海部の行政区に集中しており、こうした地域には経済特区も設置されています。このような経済発展に伴って生じた、中国国内における労働力の移動に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)

1. より高い賃金を求め、内陸部の農村から沿海部の都市へ向けて大量の労働力が移動した
2. 沿海部の労働力不足を補うため、東南アジアの諸国から大量の出稼ぎ労働者が流入した
3. 内陸部の経済発展を優先するため、沿海部の工場がすべて内陸部へ移転し、都市労働者も移動した
4. 沿海部の所得が高くなりすぎたため、政府の命令により都市住民が内陸部の農村へ移動した

問4 世界の諸地域の特徴について述べた次の文のうち、アラビア半島周辺に位置する産油国の特徴について正しく説明しているものはどれですか。 (2023年 高知県公立入試 類似)

1. 乾燥帯に属しており、原油の輸出によって得た利益をもとに、近年は金融や観光などの産業にも力を入れて近代都市を形成している。
2. 熱帯の広大な森林を切り開いて得た地下資源の輸出により、特定の沿岸部に人口が集中するメガロポリスを形成している。
3. ユーラシア大陸の内陸部に位置し、旧ソ連時代から続く重化学工業と、カスピ海周辺での海洋資源開発を組み合わせで発展している。
4. 地中海に面した北アフリカの産油国として、ヨーロッパ諸国へのパイプラインを通じた天然ガス供給を主軸に経済成長を続けている。

問5 南アジアに位置するインドにおいて、国民の約8割という最も多くの人々に信仰され、人々の生活や文化、さらには社会制度の歴史に深く根付いている宗教は何か。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. ヒンドゥー教 2. キリスト教 3. 仏教 4. イスラム教

問6 世界を6つの州に区分した際、日本や中国、インドなどが位置しており、東南アジアの国々も含まれる州はどこか。 (2018年 北海道公立入試 類似)

1. ヨーロッパ州 2. オセアニア州 3. アジア州 4. 北アメリカ州

問7 南アジアの国々の統計を示した資料において、人口密度が1平方キロメートルあたり330人を超え、主な輸出品目の1位が衣類、2位が茶となっている島国はどこですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)

1. バングラデシュ 2. スリランカ 3. パキスタン 4. インド

問8 フィリピンなどの東南アジアで見られる気候について、年間降水量が1500ミリメートル以上に達し、一年中気温が高い状態が続く理由を地理的な背景から説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)

1. 高緯度地域から流れてくる寒流の影響によって、海水の蒸発が抑制され雲が発生しにくいから。
2. ユーラシア大陸の内陸部に位置しているため、季節風が遮られ気温が上昇しやすいから。
3. 中緯度高圧帯の影響を強く受け、年間を通じて乾燥した空気が上空から吹き降りてくるから。
4. 赤道に近い低緯度のため、強い日差しによって空気が暖められて上昇気流が発生しやすいから。

問9 モンゴルの草原では、伝統的に「ゲル」と呼ばれる白い円形の移動式住居が使用されています。この住居が、簡単に組み立てや解体ができる構造になっている理由として最も適切なものはどれですか。 (2016年 大阪府公立入試 類似)

1. 永久凍土の層が厚いため、地面を掘って基礎を築くことができないため。
2. 森林資源が豊富なため、周囲にある大量の木材を使い捨てにしながら移動するため。
3. 家畜の餌となる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活する必要があるため。
4. 砂漠化を防ぐために、政府によって同じ場所に3日以上滞在することが禁じられているため。

問10 オーストラリアの貿易相手国の変化について、1965年と2015年の状況を比較した説明として、正しい内容を述べているものを選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 1965年にはイギリスやアメリカ合衆国などの欧米諸国が貿易の上位を占めていたが、2015年には中国や日本などのアジア州の国々が上位となった。
2. 1965年には北アメリカ州の国々との貿易が中心であったが、2015年には地理的に隣接するニュージーランドなどのオセアニア州内での貿易が全体の過半数を占めるようになった。
3. 1965年にはアジア州の国々が主な輸出先であったが、2015年には工業製品の輸入を増やすため、イギリスを中心としたヨーロッパ州との貿易が主流になった。
4. 1965年から一貫して中国が最大の貿易相手国であり、2015年には日本や韓国を合わせたアジア州全体との貿易額がさらに増加した。

問11 南アジアに位置するインドにおいて、全人口の約80%という圧倒的な割合を占め、人々の生活様式や文化に深く結びついている宗教の名称として正しいものを選択してください。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)

1. 仏教 2. キリスト教 3. ヒンドゥー教 4. イスラム教

問12 アラブ首長国連邦 (UAE) の輸出統計を確認すると、かつて大半を占めていた石油関連以外の品目の割合が増加しています。また、観光収入の急増に合わせてサービス業の割合も上昇していますが、このように国が「脱石油」を進める背景にある理由として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)

1. 近隣諸国との紛争により、石油の輸出ルートがすべて封鎖されたため
2. 石油の埋蔵量が世界で最も少なく、すでに完全に枯渇してしまったため
3. 国際社会から石油の採掘を禁止する条約が採択され、産業が禁止されたため
4. 限りある地下資源に頼り続けるリスクを回避し、安定した経済基盤を築くため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 インドとブラジル	人口密度が極めて高く、国土の半分以上が農地として利用されているのはインドの特徴です。インドではヒンドゥスタン平原などの広大な平原部で農業が盛んに行われており、膨大な人口を支える基盤となっています。一方、国土の約6割が森林で、人口密度が1平方キロメートルあたり25人程度と比較的低いのはブラジルの特徴です。ブラジルは世界最大の熱帯雨林であるアマゾン川流域を擁しており、農地よりも森林の割合が圧倒的に高い統計結果を示します。
問2	答え 4 外国企業の誘致などによって、衣類や電気機器などの工業製品の輸出割合が増大し、工業国へと移行している。	東南アジア諸国では、1980年時点では天然ゴムや米などの農産物、石油や天然ガスといった鉱産資源の輸出が中心のモノカルチャー経済に近い構造でした。しかし、外資系企業の積極的な誘致や経済特区の整備、ASEAN（東南アジア諸国連合）内での自由貿易の進展などにより、2015年頃には衣類、電子部品、自動車などの工業製品の輸出割合が飛躍的に高まり、工業化が大きく進展しました。
問3	答え 1 より高い賃金を求め、内陸部の農村から沿海部の都市へ向けて大量の労働力が移動した	経済特区の設置などにより沿海部の工業化が進むと、内陸部の農村との間に大きな経済格差が生じました。その結果、より高い賃金を求めて内陸部から沿海部の都市へ移動する「民工潮」と呼ばれる大量の出稼ぎ労働者が現れ、中国の経済成長を支える一方で、格差の拡大が大きな社会問題となっています。
問4	答え 1 乾燥帯に属しており、原油の輸出によって得た利益をもとに、近年は金融や観光などの産業にも力を入れた近代都市を形成している。	アラビア半島を中心とする西アジアの産油国は、石油資源への依存から脱却するため、得られた富を新しい産業の育成に投資しています。特にドバイなどは、その地理的な利点を活かして、ハブ空港の整備や、高層ビルを象徴とする国際的な観光・金融都市へと変貌を遂げました。北アフリカや中央アジア、南アメリカにも産油国は存在しますが、砂漠環境での極めて近代的な都市開発は西アジアの大きな特徴です。
問5	答え 1 ヒンドゥー教	インドでは、古代からのバラモン教に民間信仰が融合して成立したヒンドゥー教が、圧倒的多数の人々に信仰されています。この宗教は、カースト制度と呼ばれる社会層の形成や、ガンジス川を聖なる川として崇める信仰など、インドの伝統的な生活様式と密接に関わっています。仏教はインドで誕生したものの、現在のインドにおける信仰者の割合は非常にわずかです。
問6	答え 3 アジア州	問題文に挙げられた地域や国々は、すべてユーラシア大陸の東部・南部・東南部およびその周辺に位置しており、アジア州に区分されます。オーストラリアやニュージーランドが含まれるオセアニア州と混同しないように注意が必要です。
問7	答え 2 スリランカ	南アジアに位置する島国であるスリランカは、かつてセイロンと呼ばれ、イギリス植民地時代からプランテーションでの茶（紅茶）の栽培が盛んに行われてきました。近年では、安価な労働力を背景とした衣類製品の製造・輸出が急成長しており、統計上でも茶を抜いて輸出額の首位となるなど、産業構造の変化が見られます。
問8	答え 4 赤道に近い低緯度のため、強い日差しによって空気が暖められて上昇気流が発生しやすいから。	熱帯の気候は、地球上で最も太陽の光を垂直に近い角度で受ける低緯度地域に分布しています。この強い日差しが地面付近の空気を急激に暖めることで上昇気流が生まれ、積乱雲が発達して「スコール」と呼ばれる激しい雨を頻繁に降させます。この仕組みが年間を通じて繰り返されるため、降水量と気温が共に高い水準で維持されます。
問9	答え 3 家畜の餌となる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活する必要があるため。	遊牧という生活形態は、自然環境に合わせて家畜とともに移動し続けることが前提となっています。そのため、住居には「軽量であること」「短時間で解体・組み立てができること」が求められます。ゲルは木製の骨組みと家畜の毛から作ったフェルトで構成されており、遊牧民の合理的な知恵が詰まった住居といえます。
問10	答え 1 1965年にはイギリスやアメリカ合衆国などの欧米諸国が貿易の上位を占めていたが、2015年には中国や日本などのアジア州の国々が上位となった。	オーストラリアの貿易構造は、20世紀半ばまではイギリスを中心としたヨーロッパ諸国に依存していましたが、21世紀に入ると経済発展の著しい中国をはじめとするアジア州諸国へとシフトしました。2015年時点では、中国、日本、韓国、タイといったアジアの国々が主要な貿易相手国の上位に並んでいます。
問11	答え 3 ヒンドゥー教	インドでは古くからの伝統や習慣が体系化されたヒンドゥー教が、人口の約8割を占める最大の宗教となっています。カースト制度に由来する社会慣習や、牛を神聖視する食文化、ガンジス川での沐浴など、インドの人々の生活の基盤となっています。
問12	答え 4 限りある地下資源に頼り続けるリスクを回避し、安定した経済基盤を築くため	石油資源は有限であり、国際情勢による価格変動が激しいため、それだけに依存することは経済的な不安定さを招きます。UAEは将来を見据え、観光や金融、航空などのサービス業を育成することで、石油がなくても国が成り立つような「脱石油」の仕組みづくりを急いでいるのです。